

CENTENARY

2010. 5. 14
第 51 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

一年生

教育合宿

65 回生教育合宿

4月18日から2泊3日で、国立淡路青少年交流の家にて、第一学年の教育合宿が実施されました。360名全員元気に参加し、「規律ある生活と支え合う仲間」を合い言葉に「自学自習」「集団訓練・校歌コンクール」「ホームルーム活動」の各研修に精一杯取り組みました。また、集団生活を通して、基本的な生活



入所式「3日間お世話になります」

各自が授業を受けるにあたって、その授業で自分は何を学ぶべきなのかをはっきりさせることの大切さを感じるために、一日約4時間の自学自習に励みました。



自学自習ができることが重要

習慣や挨拶・マナーを身につけるなど、西高生のあるべき姿を目指しました。

自学自習

これから始まる高校での学習に向けて、学習の基本姿勢である「予習↓授業↓復習」を確立するために英数国の予習方法を身につけることを目指しました。

集団訓練

例年より10日程度教育合宿が早く実施されたため、西高の教育合宿の目玉である集団訓練・校歌発表会はどうなるか心配されましたが、各クラスがリーダー



校歌発表会に向けて……

を中心にとまどまり、りっぱな集団訓練が実施されました。



楽しいランチタイム



集団訓練風景です

あるクラスのリーダーの書いた感想を紹介します。
『僕にとって、集団行動というクラス初めて一致団結する行事でリーダーをさせていただいたことはとてもいい経験になりました。最初は正直とても不安でしたが、一回目の練習から、みんな僕の思っていたより大きな声を出してくれました。それを聞いたとき、不安はなくなり「このクラスなら優勝できる」という自信に変わりました。そして、みんなの声や動きがいいものになり、クラスが一体になっていくのを感じることができました。』

ちょっと一言 教育合宿を実施した南あわじ市には私の前任校・淡路三原高校があります。この学校は、少子化があまりにも進んだため、市内にあった県立普通科2校が一つに統合され生まれた学校で、第1回の卒業式をしたばかりです。加印地域では、生徒数の減少はそれほど急激ではありませんが、それでも10年前と比べると中学卒業生が2割以上減っています。この合宿は、いつまでも存在し続けるべき加古川西高校に入学した65回生が、意欲と活力を示し一体感を実感できる機会になったと思います。(校長・梶田 記)